

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年3月18日

事業所名:障害児保育園ヘレン中村橋

		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		コロナ対策として距離が保てるように床にシールを貼り、誰でもわかるようにしている	
	2. 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの出席人数によってスタッフの人数を調整することもある</li> <li>・今は感染の問題もあるため、外部から人を入れず、自分たちの最低限の残業で回せるときには回すようにしている。</li> <li>・産休者の欠員補充がない</li> </ul>	現在、退職、産育休中のスタッフが数名でおり、欠員状態となっています。早急に採用・育成体制を進めて適正な人員体制を整えていきます。また、子どもの特性や自立を促す為の必要な体制を検討しながら、コロナ感染防止に努めていきます。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		掃除の徹底、抜けのないようにチェック表も皆が確認できる位置に掲示	
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		業務改善係を中心に行っている	
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者さんからの要望があり、写真販売のスパンを短くした。	
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		コロナの状況もあり外部の人はなるべく遠慮いただくようにしているため、第三者評価は行っていません。	第三者による外部評価は行っていません。保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			
	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			
22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて関係各所から助言を頂いている状況です。引き続き、連携を取っていきます。
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ渦のため出来ることは限られるが、地域の公園などへ出て、他園の子どもと触れ合う機会をつくっている。</li> <li>・現在はコロナのためない。コロナが終息したら行いたい。</li> <li>・コロナの状況もあり積極的にはおこなえていない</li> </ul>	引き続き、コロナ感染状況を見ながら、地域施設(公園等)での交流を進めていきます。
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・コロナ渦のため出来ることは限られるが、地域の公園などへ出て、他園の子どもと触れ合う機会をつくっている。	
30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○				
31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			現在、家族支援プログラムに沿った支援は実施していません。必要に応じて導入を検討していきます。また、スタッフがペアレント・トレーニングの研修に参加することで保護者の方にお役に立てるような機会を検討していきます。	
保護者への説明責任等	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		前出の問いと同様コロナの状況で積極的にはおこなえていない	
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回看護師が園内スタッフに緊急時の対応等の勉強会を行っている。</li> <li>・園独自のマニュアル・訓練となっているため、ヘレン全体で統一されたマニュアルや訓練計画があるとよい</li> </ul>	毎月の訓練実施、また外部講習を受けながら、園内の対応に努めていきます。今後はヘレン全体のマニュアルを整備して計画に入れ込んでいきます。
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練係を中心にほぼ毎月実施している。	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事務室内の棚にヒヤリハットの紙を貼り、気軽に挙げられるようにし、また周りのスタッフもすぐに見られるように工夫している。	
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人として虐待研修が必ず毎年ある。	

47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか

○